

食道術後連携パス（1年7ヶ月～2年）



			かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医
			1年7ヶ月	1年8ヶ月	1年9ヶ月
			月 日	月 日	月 日
診察	問診	逆流の有無	○	○	○
		吻合部狭窄の有無			
		息切れの有無			
		ダンピング症状の有無			
		小胃症状の有無			
		一般的内科的診察の異常			
	視触診	○	○	○	
採血	血算・生化学	△	△	△	
	SCC・CEA・その他	△	△	△	
検査	頸部・胸部・腹部CT（造影）				
	胃内視鏡検査				
	頭頸部スクリーニング（耳鼻科）				
投薬	一般薬	○	○	○	
自己検診	逆流はありませんか？				
	飲み込むときにつかえはありませんか？				
	歩いた後などに息切れはありませんか？				
	冷や汗をかいたりめまいはありませんか？				
	咳や痰はありませんか？				
	傷跡は痛みませんか？				
	食事摂取量は？（お茶碗に何割くらい？）				
	その他				



受診前に自分の健康状態をチェックし、この欄に記入してください。





かかりつけ医	かかりつけ医	手術病院
1年10ヶ月	1年11ヶ月	2年
月 日	月 日	月 日
○	○	○
○	○	○
△	△	○
△	△	○
		○
	△	○
		○
○	○	○

～メモ～

○は必須項目 △は必要時に行います。



サイン

[illegible]



かかりつけ医	かかりつけ医	手術病院
1年4ヶ月	1年5ヶ月	1年6ヶ月
月 日	月 日	月 日
○	○	○
○	○	○
△	△	○
△	△	○
		○
○	○	○

～メモ～

○は必須項目 △は必要時に行います。



食道術後連携パス（1年1ヶ月～6ヶ月）



			かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医
			1年1ヶ月	1年2ヶ月	1年3ヶ月
			月 日	月 日	月 日
診察	問診	逆流の有無	○	○	○
		吻合部狭窄の有無			
		息切れの有無			
		ダンピング症状の有無			
		小胃症状の有無			
		一般的内科的診察の異常			
	視触診	○	○	○	
採血	血算・生化学	△	△	△	
	SCC・CEA・その他	△	△	△	
検査	頸部・胸部・腹部CT（造影）				
	胃内視鏡検査				
	頭頸部スクリーニング（耳鼻科）				
投薬	一般薬	○	○	○	
自己検診	逆流はありませんか？				
	飲み込むときにつかえはありませんか？				
	歩いた後などに息切れはありませんか？				
	冷や汗をかいたりめまいはありませんか？				
	咳や痰はありませんか？				
	傷跡は痛みませんか？				
	食事摂取量は？（お茶碗に何割くらい？）				
	その他				



受診前に自分の健康状態をチェックし、この欄に記入してください。



サイン

This image shows a full page of blank graph paper. The grid consists of small squares formed by thin, light gray lines. There are 20 columns and 20 rows of squares, creating a total area of 400 small squares. The margins are uniform on all sides.

食道術後連携パス（2年1ヶ月～6ヶ月）



			かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医
			2年1ヶ月	2年2ヶ月	2年3ヶ月
			月 日	月 日	月 日
診察	問診	逆流の有無	○	○	○
		吻合部狭窄の有無			
		息切れの有無			
		ダンピング症状の有無			
		小胃症状の有無			
		一般的内科的診察の異常			
	視触診	○	○	○	
採血	血算・生化学	△	△	△	
	SCC・CEA・その他	△	△	△	
検査	頸部・胸部・腹部CT（造影）				
	胃内視鏡検査				
	頭頸部スクリーニング（耳鼻科）				
投薬	一般薬	○	○	○	
自己検診	逆流はありませんか？				
	飲み込むときにつかえはありませんか？				
	歩いた後などに息切れはありませんか？				
	冷や汗をかいたりめまいはありませんか？				
	咳や痰はありませんか？				
	傷跡は痛みませんか？				
	食事摂取量は？（お茶碗に何割くらい？）				
	その他				



受診前に自分の健康状態をチェックし、この欄に記入してください。



サイン

This image shows a full page of graph paper. It features a uniform grid of small squares created by horizontal and vertical dotted lines. The grid covers the entire area of the page, leaving no margins or other markings.

サイン

[illegible]



かかりつけ医	かかりつけ医	手術病院
2年4ヶ月	2年5ヶ月	2年6ヶ月
月 日	月 日	月 日
○	○	○
○	○	○
△	△	○
△	△	○
		○
○	○	○

～メモ～

○は必須項目 △は必要時に行います。



食道術後連携パス（2年7ヶ月～3年）



			かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医
			2年7ヶ月	2年8ヶ月	2年9ヶ月
			月 日	月 日	月 日
診察	問診	逆流の有無	○	○	○
		吻合部狭窄の有無			
		息切れの有無			
		ダンピング症状の有無			
		小胃症状の有無			
		一般的内科的診察の異常			
	視触診	○	○	○	
採血	血算・生化学	△	△	△	
	SCC・CEA・その他	△	△	△	
検査	頸部・胸部・腹部CT（造影）				
	胃内視鏡検査				
	頭頸部スクリーニング（耳鼻科）				
投薬	一般薬	○	○	○	
自己検診	逆流はありませんか？				
	飲み込むときにつかえはありませんか？				
	歩いた後などに息切れはありませんか？				
	冷や汗をかいたりめまいはありませんか？				
	咳や痰はありませんか？				
	傷跡は痛みませんか？				
	食事摂取量は？（お茶碗に何割くらい？）				
	その他				



受診前に自分の健康状態をチェックし、この欄に記入してください。





かかりつけ医	かかりつけ医	手術病院
10ヶ月	11ヶ月	1年
月 日	月 日	月 日
○	○	○
○	○	○
△	△	○
△	△	○
		○
	△	○
		○
○	○	○

～メモ～

○は必須項目 △は必要時に行います。



食道術後連携パス（7ヶ月～1年）



			かかりつけ医	かかりつけ医	手術病院
			7ヶ月	8ヶ月	9ヶ月
			月 日	月 日	月 日
診察	問診	逆流の有無	○	○	○
		吻合部狭窄の有無			
		息切れの有無			
		ダンピング症状の有無			
		小胃症状の有無			
		一般的内科的診察の異常			
	視触診	○	○	○	
採血	血算・生化学	△	△	○	
	SCC・CEA・その他	△	△	○	
検査	頸部・胸部・腹部CT（造影）				
	胃内視鏡検査				
	頭頸部スクリーニング（耳鼻科）				
投薬	一般薬	○	○	○	
自己検診	逆流はありませんか？				
	飲み込むときにつかえはありませんか？				
	歩いた後などに息切れはありませんか？				
	冷や汗をかいたりめまいはありませんか？				
	咳や痰はありませんか？				
	傷跡は痛みませんか？				
	食事摂取量は？（お茶碗に何割くらい？）				
	その他				



受診前に自分の健康状態をチェックし、この欄に記入してください。





かかりつけ医	かかりつけ医	手術病院
2年10ヶ月	2年11ヶ月	3年
月 日	月 日	月 日
○	○	○
○	○	○
△	△	○
△	△	○
		○
	△	○
		○
○	○	○

～メモ～

○は必須項目 △は必要時に行います。



通信欄 (3年目) (かかりつけ医→手術病院)



年. 月. 日

サイン



かかりつけ医	かかりつけ医	手術病院
4ヶ月	5ヶ月	6ヶ月
月 日	月 日	月 日
○	○	○
○	○	○
△	△	○
△	△	○
		○
○	○	○

～メモ～

○は必須項目 △は必要時に行います。



食道後連携パス（1ヶ月～6ヶ月）



			手術病院	手術病院	手術病院
			1ヶ月	2ヶ月	3ヶ月
			月 日	月 日	月 日
診察	問診	逆流の有無	○	○	○
		吻合部狭窄の有無			
		息切れの有無			
		ダンピング症状の有無			
		小胃症状の有無			
		一般的内科的診察の異常			
	視触診	○	○	○	
採血	血算・生化学	△	△	○	
	SCC・CEA・その他	△	△	○	
検査	頸部・胸部・腹部CT（造影）				
	胃内視鏡検査				
	頭頸部スクリーニング（耳鼻科）				
投薬	一般薬	○	○	○	
自己検診	逆流はありませんか？				
	飲み込むときにつかえはありませんか？				
	歩いた後などに息切れはありませんか？				
	冷や汗をかいたりめまいはありませんか？				
	咳や痰はありませんか？				
	傷跡は痛みませんか？				
	食事摂取量は？（お茶碗に何割くらい？）				
	その他				



受診前に自分の健康状態をチェックし、この欄に記入してください。



通信欄 (3年目) (手術病院→かかりつけ医)



年. 月. 日

サイン

食道術後連携パス（3年1ヶ月～6ヶ月）



			かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医
			3年1ヶ月	3年2ヶ月	3年3ヶ月
			月 日	月 日	月 日
診察	問診	逆流の有無	○	○	○
		吻合部狭窄の有無			
		息切れの有無			
		ダンピング症状の有無			
		小胃症状の有無			
		一般的内科的診察の異常			
	視触診	○	○	○	
採血	血算・生化学	△	△	△	
	SCC・CEA・その他	△	△	△	
検査	頸部・胸部・腹部CT（造影）				
	胃内視鏡検査				
	頭頸部スクリーニング（耳鼻科）				
投薬	一般薬	○	○	○	
自己検診	逆流はありませんか？				
	飲み込むときにつかえはありませんか？				
	歩いた後などに息切れはありませんか？				
	冷や汗をかいたりめまいはありませんか？				
	咳や痰はありませんか？				
	傷跡は痛みませんか？				
	食事摂取量は？（お茶碗に何割くらい？）				
	その他				



受診前に自分の健康状態をチェックし、この欄に記入してください。



定期検査について



食道の手術を受けられた方は、通常5年間、定期検査を受けていただく必要があります。

16ページ以降に「診察・検査予定表」として定期検査の予定をまとめました。

手術後はかかりつけ医と手術を施行した病院の両方で診察を受けていただき、定期的に検査を受けてもらい、体調の変化や再発の有無のチェックをしていただきます。

表に示すとおりの間隔で病院を受診していただき、検査予定欄に示す検査を受けていただきます。食道がん術後の方には胃がんや肺がん、頭頸部がんを合併することがあるため、それらの病気に対する検査も行います。胃内視鏡検査は可能であればかかりつけ医で行います。不可能な場合は手術病院で行います。

緊急時や入院治療が必要な時は、かかりつけ医の指示で手術病院を受診していただくことになります。体調などでお困りの時にも、まずはかかりつけ医にご相談ください。

なお、食道以外（大腸，肝臓，乳腺，子宮，卵巣，前立腺など）の病気に関しては検査の対象外となります。かかりつけ医の先生に診ていただくか、地域の健康診断などをご自身で必ず受けてください。





内服薬について

病院で処方された薬は、消化剤や化学療法剤で、手術後の状態を安定させるためや手術の治療効果を高めるために必要なものです。薬は飲み忘れずに、時間を守って飲むようにしましょう。

下剤は、排便状況をみて調節してください。

薬の副作用や気になることがあれば、医師、看護師または薬剤師にお気軽にご相談ください。



緊急時の連絡について

まず、かかりつけ医にご連絡ください。手術病院での診察や治療を要する場合はかかりつけ医の判断で手術病院を受診していただきます。夜間や休日などでかかりつけ医に連絡がとれない場合は、手術病院にご連絡ください。





かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医
3年4ヶ月	3年5ヶ月	3年6ヶ月
月 日	月 日	月 日
○	○	○
○	○	○
△	△	△
△	△	△
○	○	○

～メモ～

○は必須項目 △は必要時に行います。



食道術後連携パス（3年7ヶ月～4年）



			かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医
			3年7ヶ月	3年8ヶ月	3年9ヶ月
			月 日	月 日	月 日
診察	問診	逆流の有無	○	○	○
		吻合部狭窄の有無			
		息切れの有無			
		ダンピング症状の有無			
		小胃症状の有無			
		一般的内科的診察の異常			
	視触診	○	○	○	
採血	血算・生化学	△	△	△	
	SCC・CEA・その他	△	△	△	
検査	頸部・胸部・腹部CT（造影）				
	胃内視鏡検査				
	頭頸部スクリーニング（耳鼻科）				
投薬	一般薬	○	○	○	
自己検診	逆流はありませんか？				
	飲み込むときにつかえはありませんか？				
	歩いた後などに息切れはありませんか？				
	冷や汗をかいたりめまいはありませんか？				
	咳や痰はありませんか？				
	傷跡は痛みませんか？				
	食事摂取量は？（お茶碗に何割くらい？）				
	その他				



受診前に自分の健康状態をチェックし、この欄に記入してください。



日常生活について



運動について

体力回復や筋力低下の防止には適度な運動が必要です。散歩など軽い運動を日課に取り入れ規則正しい生活を送るようにしていきましょう。また、激しい運動に関しては医師に確認してください。



入浴について

お風呂は手術前と同様に入ってかまいません。傷はふつうに石鹸できれいに洗ってください。温泉は場所によってお湯の強さがあり、体に悪影響をおよぼす場合もあります。医師にご相談ください。



退院後のお仕事について

体の回復には個人差があり、お仕事を再開する時期も人それぞれです。体の回復状況と仕事量を考慮して判断することが重要です。初めは短時間労働から始めたり、仕事量を制限して始めるとよいでしょう。これらについて対処する産業医がお勤め先にいれば、産業医にご相談ください。



たばこ、酒について

術後は肺機能が低下しますので、禁煙してください。飲酒に関しては医師に相談してください。術後は、少量の飲酒でも急激に酔ってしまったり、肝機能を悪くしたりします。





吻合部狭窄について

残った食道と胃（再建腸管）をつないだところ（吻合部）が狭くなり、食べ物を飲み込んだときにつかえる場合があります。症状がひどい場合には治療が必要になります。

逆流性食道炎がこの原因になることもあり、食道炎の予防が重要です。当院では食道炎の予防のために、術後しばらく胃酸を抑える薬を服用していただいています。



小胃症状について

胃を切除したために胃が小さくなり、あるいはなくなることによって起こる症状を小胃症状といいます。

食欲があっても食事が少ししか入らない、あるいはすぐにお腹がいっぱいになるといった症状が最も一般的です。食道手術でも胃を切除するので、食道の手術を受けられたほとんどの方が経験される症状です。

「食べ方の基本」を守って食事をするのが大切です。



便秘の異常

開腹手術の術後には、腸管機能が不安定になり便秘や下痢を繰り返す場合があります。大きな異常がなくても、食後の腹部膨満感やときには痛みを覚える場合があります。腸管の機能を整えるために散歩や適度な運動を心がけてください。そのような症状は時間の経過とともに多くは出現しなくなります。症状があるうちは薬を服用していただく場合があります。





かかりつけ医	かかりつけ医	手術病院
3年10ヶ月	3年11ヶ月	4年
月 日	月 日	月 日
○	○	○
○	○	○
△	△	○
△	△	○
		○
	△	○
		○
○	○	○

～メモ～

○は必須項目 △は必要時に行います。



サイン

This image shows a full page of blank graph paper. The grid consists of horizontal and vertical dotted lines forming squares across the entire page. There are no margins, text, or other markings present.



肺炎について

食道術後は、嚥下機能が低下する場合があります食べ物
を飲み込むときに間違っ
て気管に入り肺炎の原因とな
ることがあります。また、手術の影響で肺機能が低下
するため、肺炎が重症化する
こともあります。

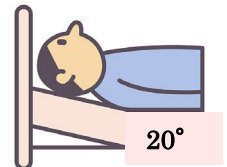
ゆっくり食事することを心がけ、慎重に食べ物を飲
み込むようにしてください。また、肺機能の回復を目的
に散歩や軽い運動を積極的に行ってください。退院
後、終始臥床することのないよう普通に生活してくだ
さい。

就寝後はとくに胃内容物が逆流しやすいので注意し
てください。就寝前2時間は食事を控えたり、就寝時に
状態を少し挙上して寝てください。

肺炎を合併しなくても、手術の影響が残り咳がつづ
く場合があります。その場合、多くは2ヶ月くらいで自
然に治まります。



逆流性食道炎について



食道を切除すると、胃（再建腸管）の内容（胃液や
十二指腸液、食物）が逆流しやすくなること
があります。「苦い水や酸っぱい水が口の方にあがってくる」
などの症状が出現します。胃酸の逆流により残った頸
部食道に食道炎を起こすこともあります。その場合、
食べ物を飲み込むときに、のどの痛みや違和感を感じ
ることがあります。症状が強い場合には薬が必要になる
場合があります。

予防には、食後30分以上は座っているようにしてく
ださい。また、とくに臥床時に逆流が多くなるので、
就寝前2時間は食事を控え、就寝時には上半身を20度
くらい高くして寝るようにしてください。腸管の動き
を活発化するために適度な運動を心がけてください。



ダンピング症候群について

胃を切除すると、いままで胃の中で攪拌（かくはん）されて少しずつ腸に移動していた食物が、一度に急に腸へ流れ込む状態になります。そのために起きる様々な症状がダンピング症候群といわれるものです。**早期ダンピング症候群**と**後期ダンピング症候群**があります。



早期ダンピング症候群

食事中や食後30分の間に、「冷汗がでる」「胸がどきどきする」「めまいがする」「お腹がぐるぐる鳴る」「下痢をする」などの症状が出現します。

安静により数分から数十分で改善します。症状が現れた時には、食事を中断し腸を安静にしてください。投薬が必要になる場合もあります。

予防するためには、食べ始めに注意して、少しずつ食べるように心がけてください。



後期ダンピング症候群

食後2～3時間後に、「全身の力が抜ける」「冷汗が出る」「めまいがする」「胸がどきどきする」などの症状が出現します。

症状が出た時には、甘いもの（氷砂糖、あめ玉、砂糖ビスケットなど）を食べてみてください。

予防するためには、長時間空腹にしないこと、食後2時間あたりにおやつを食べてください。また、食事の際の糖質（ごはん、うどんなど）を少なめにしてみましょう。

通信欄（4年目）（手術病院→かかりつけ医）



年. 月. 日

サイン

食道術後連携パス（4年1ヶ月～6ヶ月）



			かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医
			4年1ヶ月	4年2ヶ月	4年3ヶ月
			月 日	月 日	月 日
診察	問診	逆流の有無	○	○	○
		吻合部狭窄の有無			
		息切れの有無			
		ダンピング症状の有無			
		小胃症状の有無			
		一般的内科的診察の異常			
	視触診	○	○	○	
採血	血算・生化学	△	△	△	
	SCC・CEA・その他	△	△	△	
検査	頸部・胸部・腹部CT（造影）				
	胃内視鏡検査				
	頭頸部スクリーニング（耳鼻科）				
投薬	一般薬	○	○	○	
自己検診	逆流はありませんか？				
	飲み込むときにつかえはありませんか？				
	歩いた後などに息切れはありませんか？				
	冷や汗をかいたりめまいはありませんか？				
	咳や痰はありませんか？				
	傷跡は痛みませんか？				
	食事摂取量は？（お茶碗に何割くらい？）				
	その他				



受診前に自分の健康状態をチェックし、この欄に記入してください。



手術後の後遺症について



食道手術後の後遺症について

食道の手術はとても大きな手術で体に与える影響も大きなものになります。術後の体重は術前の10%減となり、肺機能も低下し、それに伴い体力も低下します。個人差はありますが、術後数ヶ月から半年くらいで体の調子もどってきます。最初は歩行時の息切れなどを感じますが、過度に体を休めることなく散歩などの適度な運動を心がけ、体力の回復に努めてください。

その他、食道手術後には下記に示すような合併症があります。それぞれについて説明致します。

腸閉塞（ちょうへいそく）、ダンピング症候群、肺炎、逆流性食道炎、吻合部狭窄、小胃症状



腸閉塞について

腹部の手術後、腸と腹壁、腸どうしの癒着が起こります。この癒着の部分を中心に腸がおれまがったり、ねじれたりして腸がつまった状態を腸閉塞といいます。

症状としてお腹の張り、腹痛、吐き気、嘔吐などが起こります。お腹が張るのに、おならも便も全く出ないことが最初の兆候です。腹痛の特徴としては、時々差し込むような痛みと腹痛を感じないときが周期的に何回も繰り返すのが特徴です。特に痛みが強いときは、我慢せずかかりつけ医の先生に連絡を取り、指示を仰いでください。

多くの場合には、絶食していると自然に治るのですが、ときには手術が必要になることがあります。

予防のために、散歩や軽い運動を心がけてください。

退院後の食生活について

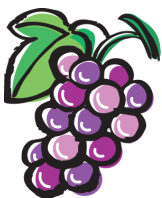


食事について

手術後に一番大きく変化するのは食生活です。胃が小さくなり、また胃の動きが低下するために、手術前と同じような量や速さで食事を食べることは困難になります。

食べ方の基本

- ✧ 食事を食べるときは、必ず座って食べましょう。
- ✧ 一口ずつよく噛むようにして、30分以上かけてゆっくり食べてください。
- ✧ 食べたものが逆流しやすくなりますので、食事の後はすぐに横にならず、30分以上座っていきましょう。
- ✧ 食事と食事の間は、散歩など体を動かすようにしましょう。
- ✧ 一回に食べられる食事量が減るので、適宜間食をするよう心がけてください。退院後はお粥ではなく普通のご飯を召し上がってもかまいません。
- ✧ 基本的には食べてはいけないものはありませんが、消化の悪いものや刺激物、偏った食事、暴飲、暴食、早食いは避け、消化の良いものを中心としたバランスのとれた食事をゆっくり楽しく食べるよう心がけてください。





かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医
4年4ヶ月	4年5ヶ月	4年6ヶ月
月 日	月 日	月 日
○	○	○
○	○	○
△	△	△
△	△	△
○	○	○

～メモ～

○は必須項目 △は必要時に行います。



食道術後連携パス（4年7ヶ月～5年）



			かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医
			4年7ヶ月	4年8ヶ月	4年9ヶ月
			月 日	月 日	月 日
診察	問診	逆流の有無	○	○	○
		吻合部狭窄の有無			
		息切れの有無			
		ダンピング症状の有無			
		小胃症状の有無			
		一般的内科的診察の異常			
	視触診	○	○	○	
採血	血算・生化学	△	△	△	
	SCC・CEA・その他	△	△	△	
検査	頸部・胸部・腹部CT（造影）				
	胃内視鏡検査				
	頭頸部スクリーニング（耳鼻科）				
投薬	一般薬	○	○	○	
自己検診	逆流はありませんか？				
	飲み込むときにつかえはありませんか？				
	歩いた後などに息切れはありませんか？				
	冷や汗をかいたりめまいはありませんか？				
	咳や痰はありませんか？				
	傷跡は痛みませんか？				
	食事摂取量は？（お茶碗に何割くらい？）				
	その他				



受診前に自分の健康状態をチェックし、この欄に記入してください。



[illegible]☐入院サマリー参照

手術日（治療日）

① _____年 _____月 _____日

② _____年 _____月 _____日

病変① cT_____ cN_____ cStage_____

部位 ☐Ce ☐Lt ☐Mt ☐Ae ☐その他_____

形態分類 _____型

病理 pT_____ pN_____ M_____

pStage ☐0 ☐I

組織 ☐SCC_____ ☐その他_____

病変② _____

術式①

- ☐胸腹部食道切除（鏡視下・開胸開腹下）
- ☐中下部食道切除 ☐咽頭・喉頭・頸部食道切除
- ☐その他_____
- ☐合併切除（_____）

術式② _____

LN郭清 ☐2領域 ☐3領域 ☐その他 _____

再建 血行再建（あり・なし）

- ☐胃 ☐結腸 ☐空腸（遊離・有茎）
- ☐その他 _____

経路 ☐後縦隔 ☐胸骨後 ☐胸壁前

☐その他_____

術前CEA値 _____ng/ml 正常値（_____以下）

術前SCC値 _____U/ml 正常値（_____以下）

術前（_____）値 _____正常値（_____以下）



かかりつけ医	かかりつけ医	手術病院
4年10ヶ月	4年11ヶ月	5年
月 日	月 日	月 日
○	○	○
○	○	○
△	△	○
△	△	○
		○
	△	○
		○
○	○	○

～メモ～

○は必須項目 △は必要時に行います。



通信欄（5年目）（かかりつけ医→手術病院）



年. 月. 日

サイン

既往歴および現在治療中の病気

アレルギー

内服薬（お薬手帳がある場合は記入不要）

ふりがな
お名前

生年月日 明・大・昭・平____年____月____日

身長 _____cm 体重（退院時）_____ kg

手術病院

TEL

ID

担当医

退院日 _____年 _____月 _____日

かかりつけ医療機関(1)

医師名

TEL

かかりつけ医療機関(2)

医師名

TEL

かかりつけ医療機関(3)

医師名

TEL

かかりつけ薬局

TEL

サイン

[illegible]

各種窓口



患者さんが病院に対する安心感と信頼感を持って療養に専念していただけるように地域医療連携室や医療相談窓口で相談をお受けしています。

_____病院



地域医療連携室(地域医療連携サービス業務)

紹介患者様の受診予約

受診当日の受付・受診科へのご案内

病院・診療所・行政との医療連携に関する事項

セカンドオピニオン外来の受付

電話：_____ (直通)

時間 (平日 : ~ :)

(土・日曜日、祝祭日はお休みです)



医療相談室

病気を抱えて生活することの不安や悩みに関する相談、医療保険、年金、介護サービスなどについての相談、転院や退院後の生活についての相談、医療費などの経済的な問題についての相談

電話：_____ (直通)

時間 (平日 : ~ :)

(土・日曜日、祝祭日はお休みです)



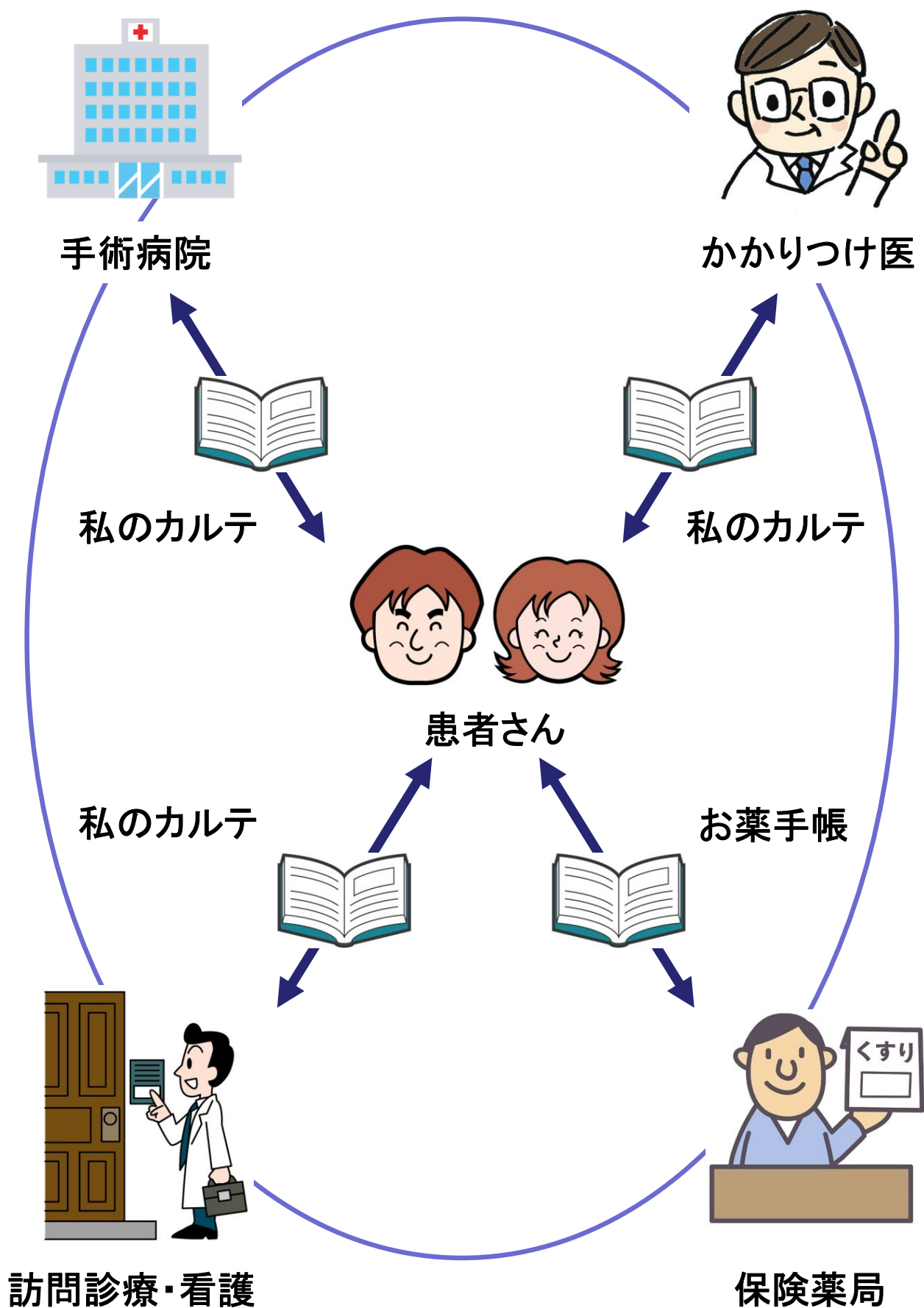
夜間・休日などの対応

緊急を要する場合で、休日や夜間等かかりつけ医を受診できないときは、各病院までご連絡ください。

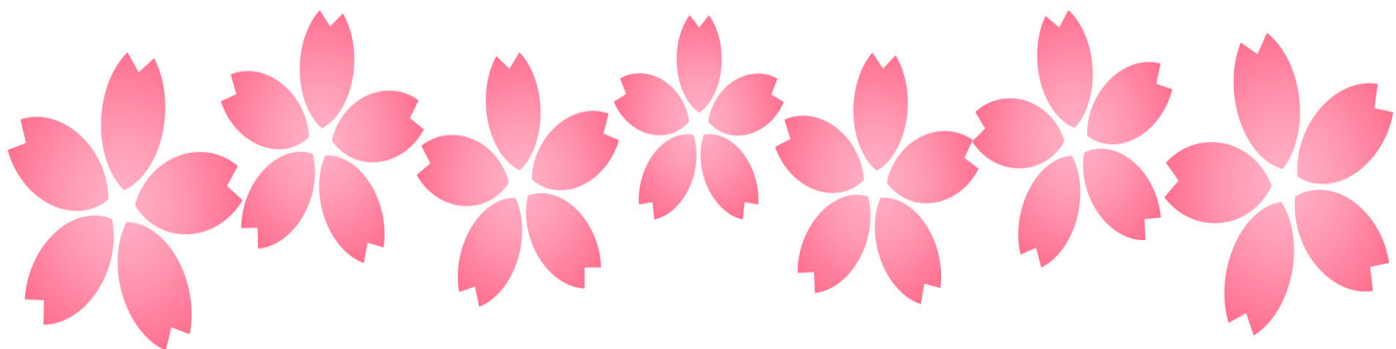
_____病院

電話：_____ (代表)

地域医療連携とは



連携手帳とお薬手帳を持っていれば安心です。医療機関受診時にお忘れなく。



この手帳は、手術病院と地域のかかりつけ医が協力し、患者さんの視点にたった安心で質の高い医療を提供する共同診療体制を構築することを目的に作成されました。

内容には、①患者さんの診療情報、②退院後の生活について、③今後の診療予定表、④通信欄などが含まれています。

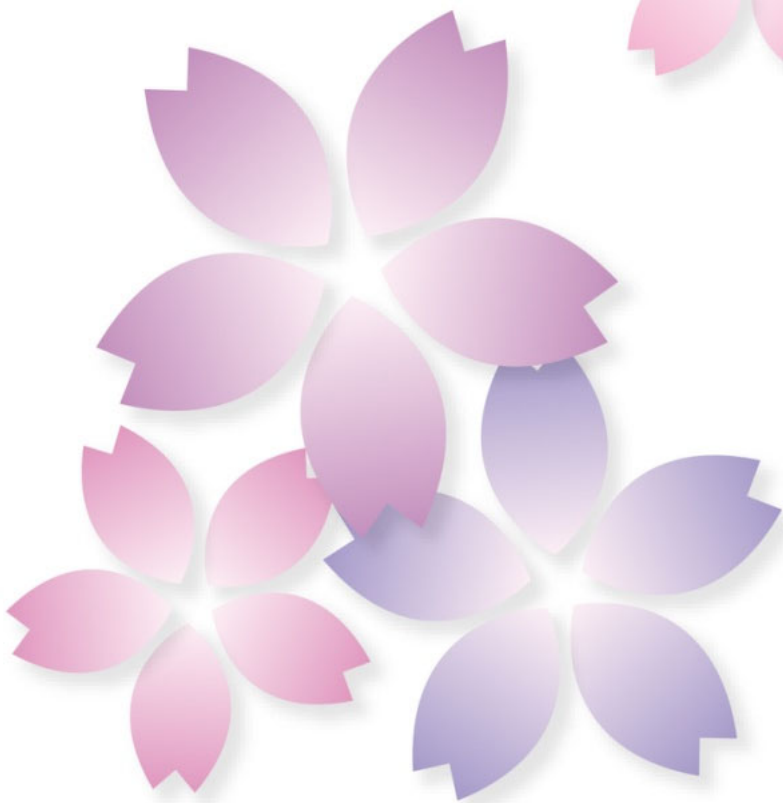
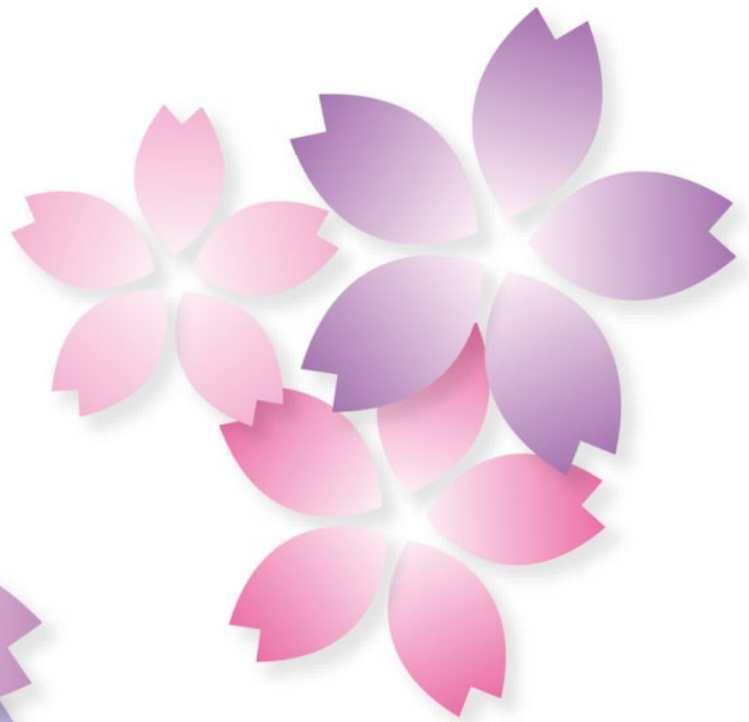
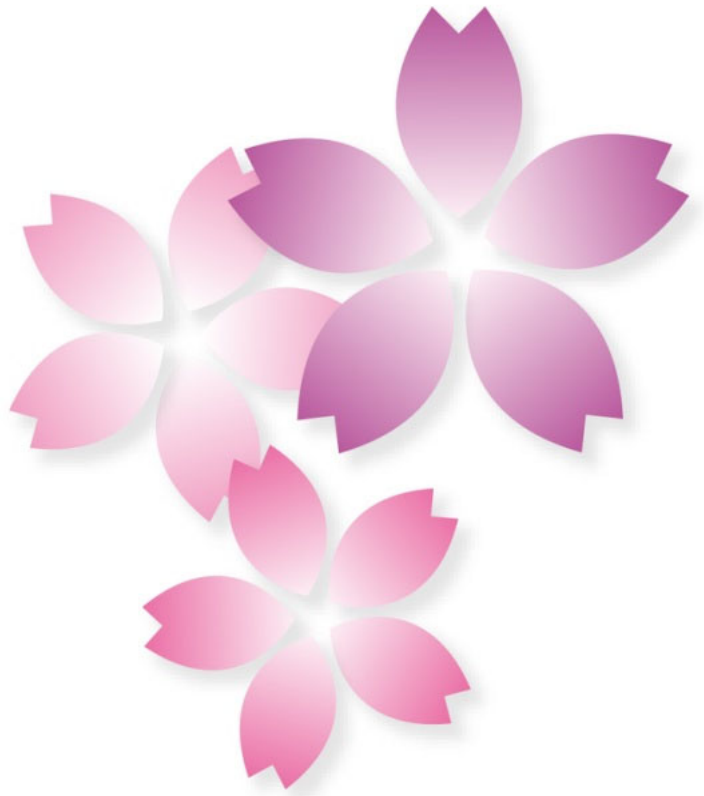
この手帳を活用し、かかりつけ医と手術病院の医師が協力して患者さんの治療を行います。

病状が落ち着いているときの投薬や日常の診療はかかりつけ医が行い、専門的な治療や大きな検査は手術病院が行います。何か心配なことがあるときには、まずかかりつけ医に相談して下さい。適宜必要に応じ手術病院を受診していただきます。また、緊急を要する場合で休日や夜間などでかかりつけ医を受診できない場合は、手術病院までご連絡下さい。





秋田大学医学部附属病院
食道外科





Stage0-I

食道医療連携手帳 「私のカルテ」

